

平成31年度

# 白井市内公民館等 事業計画

西白井公民館  
白井駅前公民館  
桜台公民館  
学習等供用施設  
青少年女性センター

(参考) コミュニティ施設事業計画  
公民センター  
白井コミュニティセンター

## 目次

西白井公民館	P 1
白井駅前公民館	P 4
桜台公民館	P 8
学習等供用施設	P 11
青少年女性センター	P 14
(参考施設)	
公民センター	P 18
白井コミュニティセンター	P 19

# 平成31年度 西白井公民館 事業計画

## ●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

## ●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

### 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

### 戦略2 「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

### 戦略3 「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」の公民館機能の特色を生かした事業を計画していきます。

## 1. 課題

### (1) 地域の課題

- ・子育て世代の問題が可視化されていない。気軽に相談できる場所が少ない。
- ・梨園や清水口調整池など、みどり・自然が身近にあるにも関わらず魅力を認識できていない。
- ・西白井駅前など地域拠点においても、人々が集い交流できる場が少ない。

### (2) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・固定化した利用者が多く、新しい層、特に働く若い世代の利用が少ない
- ・ワークショップやミーティングのような体験型の事業に対する利用者の関心が低く講師の指導を求める傾向がある
- ・地域の連携を強める働きかけや協力体制が不十分である

## 2. 運営方針

### 平成31年度 西白井公民館 運営方針

#### (1) 全体の運営方針

- ・人々が新たに出会い、発見して、喜びを実感できる事業・講座の運営に努める。
- ・地域の人々のやりたいを実現できる場所にする。
- ・住民が学びあい、交流しあい、連帯しながら、地域をつくる主体となっている実感を持てる場としていく。

## (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育ての不安を解消し、安心していられる場所を提供する。 ②同世代の保護者同士の交友関係を広げる環境をつくる。 ③家庭内でお互いに協力し、家族としての役割を果たすことを学ぶ。
青少年教育 (2)	①性質の異なった人たちとの交流から、個性を認め合う人物となる。 ②学習・活動を通して、技術と学ぶことそのものの楽しさを実感する。 ③各活動を通して、豊かな体験・経験を重ねる。
成人教育 (3)	①自己発見・自己実現のできる学習の場を提供する。 ②体力・精神力を向上させ、豊かな社会生活を送れるようにする。 ③性別に関係なく活躍できる社会について考える機会をつくる。 ④学びを実践にいかし、地域のリーダーとなる人物を育てる。
団体育成 (4)	①自ら得た学びを地域で発揮して、新たなメンバーを増やす。 ②地域に出て、人や地域とつながる核となる人材を育成する。

## (3) 平成31年度 特に重点的に実施していく項目(分野や事業など)

- ・子育て支援のなかで、男女共同参画を啓発・推進していく。
- ・地域で活躍している団体と協力して講座・事業を実施する。
- ・2年目となる「にしふくマルシェ」で西白井駅前の活性化・交流を図る。  
ふるさと産品・農産品など販売を通して、地域の魅力を発見できる場を設ける。

## 3. 西白井公民館 講座等実施計画

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	募集人数	
家庭教育 (1)	おやこ広場	①・②・③	10回	15人
	レッツクッキング(親子)	①・②・③	2回	24人
青少年教育 (2)	キッズクラブ	①・②・③	9回	15人
	親子で!科学体験教室	②・③	12回	30人
	レッツクッキング(小学生)	①・②・③	2回	12人
	子ども将棋教室	①・②・③	10回	30人
	書き初め練習会	②・③	1回	20人
成人教育 (3)	ウォーキング講座	①・②	4回	30人
	男女共同参画事業	①・③・④	2回	16人
	スマートフォン講座	①・②	2回	15人
	健康料理教室	①・②	1回	16人
	白井ネクスト5・10	①・②・③・④	4回	16人
	デコ巻き教室	①・②・③	2回	16人
	ラフターヨガ	①・②・④	4回	20人

団体育成 (4)	手しごと倶楽部	①・②	3回	8人
	ウクレレ講座	①・②	2回	10人

## (2) 講座以外に行う事業

- ・ 公民館利用者連絡協議会
- ・ 多目的室利用団体協議会
- ・ にしふくマルシェ
- ・ ロビーコンサート
- ・ 西白井複合センターまつり (12月)
- ・ ともしびの夕べ in 白井 (3月)
- ・ 子ども映画会
- ・ 懐かしの映画会

## (3) 情報の提供

- ・ センターだよりの発行
- ・ ホームページ、ブログへの記事掲載
- ・ 自主事業ポスター
- ・ 利用者の活動ポスター
- ・ ミニコミ誌への記事掲載

## (4) 施設の提供

- ・ 生涯学習の場として、団体・サークルへの施設の貸出
- ・ 市民活動発表の場として、ロビーの貸出 (作品等の展示)
- ・ サロン開催や市民活動の場として、多目的室の貸出

# 平成31年度 白井駅前公民館 事業計画

## ●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

## ●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

### 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

### 戦略2 「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

### 戦略3 「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」の公民館機能の特色を生かした事業を計画していきます。

## 1. 課題

### (1) 地域の課題

- ・若年層から高齢者までの社会的な孤立など、地域において何らかの支援が必要な人が増加している。
- ・家族で支える力が低下する中、地域で支え合うしくみを構築していく必要がある。
- ・大きな担い手となる若者の公民館利用が少なく、連携が図れていない。

### (2) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・高齢者や障がいを持った人々の居場所や交流の場を今以上に提供していく。
- ・子育て中の人たちの交流が図り、安心して子育てできる環境づくりに取り組む。
- ・講座後学んだことを地域で生かし、支え合う循環社会づくりを進める。
- ・学校と地域の連携を図り、子ども達が未来を切り開く能力を育成していく。

## 2. 運営方針

平成31年度 白井駅前公民館 運営方針

### (1) 全体の運営方針

子どもから高齢者・障がい者まで多様な世代が集い学ぶことをきっかけに、関係をつくり、孤立化を防ぎ、災害時などにも支え合える地域づくり・まちづくりを進める。地域の小中高学校とも連携を図り、子どもたちの社会参加を促進し、活躍でできる場を提供していく。

## (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①若い保護者への子育て支援を行い、地域全体で子育てを支えるしくみをつくる。 ②同世代の子どもを持つ保護者同士の交友関係を広げ、安心して子育てできる環境をつくる。
青少年教育 (2)	①学年・学区の異なる子どもたちの交流を図る。 ②学習、体験、活動を通して、その技術を身に付けると共に学ぶ楽しさを実感する。 ③講座を通して社会に目を向け、視野を広げる。 ④郷土に愛着を持つ。 ⑤地域の小中学校と連携を図り、子どもたちの社会参加につなげる。
成人教育 (3)	①生涯学習の楽しさや意義を学ぶ。 ②講座を通して（世代間）交流を図る。 ③地域を支え、繋げて行く担い手を育成する。 ④日々の暮らしを充実させ、地域を支えるしくみをつくる。 ⑤ひきこもり状態にある若者と、その家族の社会参加を支援する。
団体育成 (4)	①学習成果を通して地域の活性化につなげる。 ②自らが得た技術を地域に提供することで団体活動の活力にする。

## (3) 平成31年度 重点的に実施していく項目

地域の貴重な人財として、市民の多様な力を活かし、地域コミュニティの拠点となるよう進める。市民同士で支え合えるよう新たな担い手を育てていく。

## 3. 白井駅前公民館 講座等実施計画

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	募集人数	
家庭教育 (1)	B a b y t i m e (定期講座・児童館共催)	①・②	7回	未定
	チビちゃんポケット (定期講座・児童館共催)	①・②	7回	15組 30人
	子育てサロン (定期講座・児童館共催)	①・②	3回	未定
青少年教育 (2)	トライアカデミー ～ものづくり教室～ (定期講座・ 児童館・憩いの家共催)	①・②	10回	20人

	ジョイキッズ (定期講座・児童館共催)	①・②・③	4回	16人
	ものがたりクリエイター (定期講座・児童館共催)	①・②・④	11～12回	未定
	子ども工作教室 (児童館共催)	①・②	1回	未定
	子どもクッキング (定期講座・児童館共催)	①・②	4回	未定
	子ども卓球教室 (児童館共催)	①・②・⑤	1回	未定
	子ども将棋教室 (児童館共催)	①・②	1回	未定
成人教育 (3)	バンドチャレンジ講座2 (定期講座・ 児童館・憩いの家共催)	①・②・③	12回	未定
	ベジフルカッティング (定期講座)	①・②	2回	8人
	車大好き～第3弾～ (憩いの家共催)	①・②	1回	未定
	ライフサポート講座 (定期講座・憩いの家共催)	①・③・④・ ⑤	5回	未定
	健康講座ハロウィーンウォーク ～大人の社会見学～ (憩いの家共催)	①・②	1回	未定
団体育成 (4)	手芸教室	①・②	2回	未定
	藍染教室	①・②	1回	16人

## (2) 講座以外に行う事業

- ・地域懇談会 (利用団体連絡会総会)
- ・センターフェスティバル (憩いの家・児童館共催)
- ・駅前サロン ふらっと (憩いの家・児童館共催)
- ・はっぴい広場 (仮) (児童館・憩いの家共催)
- ・漢字検定 (児童館・憩いの家共催)
- ・白井市第5次総合計画みどり活用プロジェクト  
「GREEN FES！」 (憩いの家共催)
- ・白井市第5次総合計画拠点創造プロジェクト  
「白井駅前ミュージックフェア ～輪音～」 (児童館・憩いの家共催)



- ・駅前ボランティア（憩いの家・児童館共催）
- ・コミュニティファンド～駅前ファンド～（憩いの家・児童館共催）

### （３）情報の提供

- ・センターだより・子育て通信・ブログ掲載・自主事業ポスター掲示
- ・地域情報掲載　・利用者の活動ポスター掲示

### （４）施設の提供

- ・地域住民が地域課題に取り組み、交流を図る場の提供

# 平成31年度 桜台公民館 事業計画

- 白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）  
「ときめきと みどりあふれる 快活都市」
- 目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）
  - 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」
    - ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
    - ・子育てしたくなるまちづくり
  - 戦略2 「みどり活用プロジェクト」
    - ・みどりが価値を生み出すまちづくり
    - ・みどりがつながるまちづくり
  - 戦略3 「拠点創造プロジェクト」
    - ・地域拠点がにぎわうまちづくり
    - ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」の公民館機能の特色を生かした事業を計画していきます。

## 1. 課題

### (1) 地域の課題

- ・地域団体や自治会同士の連携が薄い
- ・高齢世帯と新規編入の若い世帯と二極化している
- ・一小学校一中学校であるため、子ども達の交流が限られている

### (2) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・参加者の固定化
- ・連続講座への参加者の減少
- ・施設予約に関する利用者との兼ね合い

## 2. 運営方針

### 平成31年度 桜台公民館 運営方針

#### (1) 全体の運営方針

年間テーマ【臨：のぞむ：「やってみよう」を促す】

- ・何かをしてみたいという市民や団体の願望に寄り添い支援することにより、生涯学習社会実現を目指す

## (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①保護者が家庭において行う子育てや教育について学ぶ機会や場を提供する。 ②親子の学びや育ちを地域で支援し、子育てによる閉塞感を緩和する。 ③同世代の子供を持つ親、同世代の子供達の出会いと交流の場を因る。
青少年教育 (2)	①想像力、創意工夫、生きる力をつけるための体験、活動、学習などの機会を提供する。 ②異年齢、異学区の交流の機会を提供し、社会性を養う。 ③自ら考え行動する青少年を地域で育成する。
成人教育 (3)	①さまざまな趣味や学習などを通じて、自己実現の機会を提供する。 ②適度な運動を行うことで、加齢などによる能力低下を予防する。 ③社会変化に対応するための知識を得る機会を提供する。 ④趣味などを通じた仲間づくりを支援する。
団体育成 (4)	①地域活動団体の活動場所や機会を提供する。 ②地域で何かをしたいという思いを支援する。

## (3) 平成31年度 特に重点的に実施していく項目（分野や事業など）

- ・中高生対象の講座を企画し、自らが居住する地域に関心を向けるとともに次世代リーダー育成の土台をつくる

## 3. 桜台公民館 講座等実施計画

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	募集人数	
家庭教育 (1)	子育てサロン 【定期講座】【児童館と合同】	①・②・③	3回	12人
	赤ちゃん広場「いちご組」 【定期講座】【児童館と合同】	①・②・③	10回	30人
青少年教育 (2)	さくらだいクラブ ～白井探検隊～ 【児童館と合同】	①・②・③	5回	12人
	学ぶkidsシリーズ 【児童館と合同】	①・②	3回	各15人
	さくセンこども企画部 【児童館と合同】	①・②	6回	8人
	さくセンフェスタ子どもボラン ティアに挑戦 【児童館と合同】	①・②	1回	10人

	学ぶ kids 「さくセン合宿～ナイトウォーク～」 【青少年相談員、児童館と合同】	①・②・③	1回	20人
	なろう！ジュニアリーダー	①・②・③	3回	10人
成人教育 (3)	白井散策倶楽部	①・②・④	2回	10人
	桜台キッチン	①・④	4回	各16人
	男のオフタイム講座	①・②・④	2回	8人
	リフレッシュ倶楽部	①・②・④	3回	8人
	大人の学び講座	①・③・④	3回	各10人
	女のアフター7講座	①・④	3回	10人
	大人の手芸倶楽部	①・④	3回	10人
団体育成 (4)	なろう！桜台地域サポーター	①・②	5回	7人

## (2) 講座以外に行う事業

- ・桜台センター利用者連絡会
- ・さくセンフェスタ実行委員会
- ・さくセンフェスタ
- ・地域イズム
- ・ちょこっとティータイム (ティーサロン)
- ・ケンズカフェ (音楽喫茶)
- ・市企画政策課男女共同参画室との共催事業
- ・青少年女性センター主催白井フェミナス♥+ 協力
- ・リアル防災訓練 in 桜台 協力

## (3) 情報の提供

- ・紙媒体：広報しろい さくセン通信 児童館だより 周知ポスター  
(「さくセン通信」を桜台小中学校から児童数配布、市内各センター、行政施設等に設置、桜台小中学校区自治会に回覧)
- ・web：桜台センターのホームページ、ブログ、facebook ページ

## (4) 施設の提供

- ・市民に平等、公平な施設の利用促進、貸館業務の充実
- ・地域の拠点となる場所の提供

# 平成31年度 学習等供用施設事業計画

●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

●目指す将来像を実現す

るために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

戦略1 「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

戦略2 「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

戦略3 「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

## 1. 運営方針

平成31年度 学習等供用施設 運営方針

### （1）全体の運営方針

地域に根差した事業運営を実施し、地域の拠点となるべく求心力を高める。

### （2）分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①親自身の成長や子供たちの視野を広げるための子育て学習講座等を実施し、学習機会を提供する。 ②子育て中の親を対象とし、育児の悩みや不安の解消を図れるような交流の場とする。
青少年教育 (2)	①学校、自治会及び関係団体との連携を図り、自ら考え、判断し、行動する力を育成する。 ②行事を通じて様々な人達との交流により、地域社会への参加促進に努める。

成人教育 (3)	①講座を通して同じ趣味の人との交流の場作りを図る。 ②生涯学習の楽しさや意義を学ぶための学習意欲の向上と機会の環境づくりに努める。 ③高齢者の悩みに対応した講座を推進し、健康面、問題点について話し合う。 ④地域の人を持っている力や技術をキャッチし、講座からサークル活動に移行するための援助をする。
団体育成 (4)	①講座を通して、子供から高齢者までの世代を超えた学びのある環境づくりに努める。 ②市民・サークル団体・地域ボランティア間との交流を図り、その場を提供する。

(3) 平成31年度 特に重点的に実施していく項目(分野や事業など)  
地域団体等との連携による事業の実施と親子及び異世代間の交流を図る。

## 2. 学習等供用施設 講座等実施計画

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	募集人数	
家庭教育 (1)	親子教室「いちごクラブ」	①・②	1回	40組
	リズムベビーマッサージ	①・②	2回	10組
	ベビー&キッズお話し会	①・②	1回	13人
	親子ヨガ	①・②	1回	20組
	みるく	①・②	8回	自由
青少年教育 (2)	通学合宿	①・②	1回	20人
	夏休みゴーゴーチャレンジ	①・②	4回	43人
	子どもクッキング	①・②	1回	16人
	ハーバリウム	①・②	1回	20人
	山登り体験	①・②	1回	12人
	囲碁講座	①・②	1回	10人
	歴史にふれよう	①・②	1回	20人
	将棋教室	①・②	1回	10人
成人教育 (3)	家庭菜園教室	①・②	2回	1回あたり20人
	男性料理教室	①・②・④	2回	1回あたり16人
	ウクレレ教室	①・②・④	1回	10人
	そば打ち教室	①・②・④	1回	15人
	ランチクッキング	①・②・④	3回	1回あたり16人
	門松づくり教室	①・②・④	1回	15人

	エコクラフト教室	①・②・④	1回	15人
	認知症予防ケア講座	①・②・③	6回	20人
	抹茶教室	①・②・④	6回	12人
	終活講演	④	1回	自由
団体育成 (4)	世代間交流	①・②	1回	自由
	救命救急講座	①・②	1回	10人
	富士センター音楽祭	①・②	1回	自由

(2) 講座以外に行った事業

- ・電車&ミニカーあそび
- ・ハロウィン
- ・富士センターフェスティバル
- ・美化交流
- ・クリスマス会
- ・ふじっこダイニング
- ・カラオケ交流会

(3) 情報の提供

- ・センターだより・広報紙・児童館だより
- ・自治会や地域及び小学校等へのチラシの配布・ホームページ掲載

(4) 施設の提供

- ・地域の会合や話し合いの場としての提供や施設備品等の貸出しを行った。
- ・地域団体を講師としての講座と地域交流事業を実施した。

# 平成31年度 青少年女性センター 事業計画

## ●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

## ●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

### 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

### 戦略2 「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

### 戦略3 「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」の公民館機能の特色を生かした事業を計画していきます。

## 1. 課題

### (1) 地域の課題

- ・多種多様な生活スタイルがあり、個別の課題を地域課題として捉えることが難しい。

### (2) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・男女共同参画の推進を前面に打ち出した講座や事業では、参加者数が少なく、興味・関心のある趣味的講座の参加に偏りがちとなってしまう。

## 2. 運営方針

### 平成31年度 青少年女性センター 運営方針

#### (1) 全体の運営方針

- ・男女共同参画の推進と地域の交流

#### (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て世代が交流し悩みや不安を解消出来る機会をつくる。 ②子育てを通じて男女共同参画の推進を図る。 ③家事や育児に男性参加を促し固定的性別役割分担意識の解消を進める。



青少年教育 (2)	①市内の小学生を対象に、交流の場を設け仲間作りを推進する。 ②市内の小学生を対象に、体験を通して学習し興味を促す。 ③中学生以上を対象とした、進路にも繋がる体験学習の場を提供する。 ④子供の自立と家事参加を応援する。
成人教育 (3)	①再就職を目指す女性にスキルアップやキャリアアップのための学習ができる機会をつくる。 ②自立が困難な母子家庭の母親やDV被害者の女性を優先し自立支援を行う。 ③人とのコミュニケーションが苦手等働きづらさに悩む若い女性居場づくり。 ④地域で自分らしく生き生きと働けるようワーク・ライフ・バランスを推進する。 ⑤女性のための生涯学習の場を提供する。 ⑥地域住民が集い、学ぶコミュニティーの場を提供する。
団体育成 (4)	①学習成果の発表の場を提供し、団体活動を支援する。 ②対人関係が苦手の中々社会進出できない若い女性の自助グループを、外に出る機会を与え社会参加の機会を提供する。

### (3) 平成31年度 特に重点的に実施していく項目 (分野や事業など)

- ・地域住民が集う場を提供すること、市民との連携事業

## 3. 青少年女性センター 講座等実施計画

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数	募集人数
家庭教育 (1)	子育て支援講座 (ハッピースマイル術)	①・②	3回	各15人
	おやこ体験講座 (おやこチャレンジ)	③	6回	各10組
青少年教育 (2)	中高生向け体験学習	③	1回	15人
	小学生向け体験学習 (わらべの集い)	①	1回	30人
	小学生向け体験学習 (キッチンサイエンス)	②	1回	20人
	小学生向け体験学習 (おうちシェフ)	④	6回	各12人
成人教育 (3)	女性支援講座 (ストレスフリーライフ講座)	⑤	3回	各15人

	再就職支援講座（パソコン講座）	①・②	18回	10人
	女性支援講座（起業講座）	④	4回	各15人
団体育成 （4）	合同事業やイベントでの成果発表 自助グループの育成	①・②		

## （2）講座以外に行う事業

- ①ふくしまつりの開催（サークルの成果発表の場）
- ②こどもまつりの開催（世代間交流の場）
- ③季節に合ったイベントの開催年6回  
（就労継続支援B型事業所みのりとの合同事業）
- ④自助グループ『パステル』の活動支援
- ⑤コミュニティーサロン『清戸の杜プチマルシェ』の開催
- ⑥白井フェミナス♥+（ハートプラス）の開催
- ⑦居場所づくり『こころのCafe』の開催年10回

## （3）情報の提供

講座・行事（イベント）情報は、広報しろい、社協しろい、HP、facebook  
ページにて情報提供。  
各講座チラシを作成し、近隣スーパーや関係機関に配布、掲示。  
情報誌『清戸の杜』の発行（年12回）  
就労に関する情報提供を2階ロビーにて案内

## （4）施設の提供

団体活動の発表や展示等活動への協力を行う

## 參考資料

# 平成31年度 公民センター 事業計画

- 白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

- 目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

戦略1 「若い世代定住プロジェクト」

1-2 働く場を生み出すまちづくり (1) 工業団地などにおける市民の雇用拡大

戦略3 「拠点創造プロジェクト」

3-2 地域拠点がにぎわうまちづくり (1) 小学校区を基本的な単位としたまちづくり協議会の設立の推進

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現とセンターの利用促進のための事業を行います。

## 実施する事業・講座など

対象	事業名	回数	目標人数
中学生以上	社長さんの話を聞こう 7月20日	1回	70人
一般	ほっこり市（交流事業） 12月14日	1回	300人
一般	まんぷく広場（交流事業） 10月～3月	10回	250人
一般	卓球でリフレッシュ（交流事業） 5月～3月	22回	200人
一般	料理教室	1回	15人
一般	ガーデニング教室	2回	20人
企業・一般	救急救命講習（AEDの使い方） 7月	1回	30人
一般	未定	3回	

## 支 援 事 業

内容	実施回数
青色防犯パトロール	24回
カナナ街道の再生	6回
第二小学校の花壇の再生	2回

## 会議

まちづくり推進会議（区長・民生委員・PTA・地区社協・防犯指導員・その他）	2回
---------------------------------------	----

# 平成31年度 白井コミュニティセンター 事業計画

- 白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）  
「ときめきと みどりあふれる 快活都市」
- 目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）
  - 戦略1 「若い世代定住プロジェクト」
    - ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
    - ・子育てしたくなるまちづくり
  - 戦略2 「みどり活用プロジェクト」
    - ・みどりが価値を生み出すまちづくり
    - ・みどりがつながるまちづくり
  - 戦略3 「拠点創造プロジェクト」
    - ・地域拠点がにぎわうまちづくり
    - ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」の公民館機能の特色を生かした事業を計画していきます。

## 1. 課題

### (1) 地域の課題

健康寿命をのばすこと、地域コミュニティを生かした健康作り  
農商工による連携事業  
世代間の交流する場が少ない

### (2) 講座や事業などに対する運営上の課題

学習系の講座は参加者が少ない  
地域の人を受講がまだまだ少ない  
他施設との同じ様な講座の重なりと日にちの重なり

## 2. 運営方針 )

### 平成30年度 運営方針

#### (1) 全体の運営方針

テーマ：step3～地域と生きる

利用者の平等な利用とサービス向上に努め、効率的な管理運営を行う。

併せて地域の拠点として、市民と行政と団体とのコーディネーターの役割を担い「わがまち白井」を合い言葉とし、まちづくりに参加・協働する。

課題に対しては、アンケートや利用団体連絡会等で話を伺いながら、センター内で検討し、少しでも参加者を増やすよう努めます。

## (2) 分野別方針

	運営目標
市民の連帯意識の向上 (1)	①地域の拠点として市民交流や世代間交流を推進する ②市民や自治会等コミュニティセンター事業へ施設提供を図る ③利用団体の発表の場を推進する ④地域文化を知り、地域に愛着を持てる意識づくり
地域コミュニティの活性化 (2)	①市民の地域活動育成を推進する ②拠点として地域住民の利用を推進する ③地域文化・食文化を推進する ④市民団体や市と連絡調整しコミュニティを図る
趣味や生きがいづくりの向上 (3)	①陶芸窯・アートのスペースの利用促進する ②各種スポーツを推進する ③趣味や生きがいづくりを推進する ④心豊かで、穏やかな生活を送るきっかけを作る

(3) 平成31年度 特に重点的に実施していく項目(分野や事業など)  
地域交流・世代間交流・文化交流に力を入れ、日常生活を豊かにする

## 3. 白井コミュニティセンター 講座等実施計画

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	募集人数
市民の意識の向上を図る事業 (1)	「今井の桜保全プロジェクト」	①④	3回 200人
	ふらっと市内歴史散策	①④	1回 10人
	コミセンフェスタ実行委員会	①②③④	3回 60人
	コミセンフェスタ(児童館共催)	①②③④	1回 800人
地域コミュニティ活性化を図る事業 (2)	ティーサロン	②④	12回 240人
	利用団体連絡会	①②	2回 20団体
	脳を鍛える大人のトレーニング	①②	3回 30人
	第4回ワーキング・キッズ・アドベンチャー(児童館共催)	①④	1回 体験 200人
	親方の料理講座	③	1回 12人
	第7回オミパde白井	③④	1回 30人
趣味や生きがいづくりの向上 (4)	トールペイント講座	③④	2回 20人
	デジカメ講座	③④	2回 20人
	やりたい事を見つけよう	③④	3回 30人
	座禅のすすめ	③④	1回 10人
	DIY 挑戦木工講座	③④	1回 10人

## **(2) 情報の提供**

- ・コミュニティセンターで実施する事業の情報提供  
(広報しろい・ホームページ・ブログ・フェイスブック・コミセン通信・市内公共施設にポスター掲示・チラシ配布)
- ・コミセン通信を白井第1小学校、白井中学校、白井保育園、ひまわり保育園から家庭数配布
- ・コミセン通信を約900枚程度近隣住宅配布、白井・下長殿自治会の会員数を各班長に配布、近隣商店に設置

## **(3) 施設の提供**

- ・利用者に平等、公平な施設の利用促進、貸館業務の充実
- ・地域のコミュニティの核となる場所の提供

## **(4) その他 後援事業**

- ・春のそろばん祭り(4月)
- ・夏のそろばん祭り(8月)

## **(5) 行事名の変更**

- ・ふらっと美術・博物館→ふらっと市内歴史探索